

皆様、日々のお務めお疲れ様でございます。今年最後の社内向け情報誌、第32号です。



「離合」って方言？

車ですれ違うのが難しいことを離合困難と言ったり、ギリギリすれ違える場所を離合ポイントと言ったりしますよね。実はこれ、方言なんだそうです！九州地区を中心として当たり前に使われていますが、広島県あたりまで通じるものの、関西圏では半分くらいの人に伝わらなくなると、東北や北海道になるとまったく伝わらなくなってしまつてうです。自動車学校で習った言葉だと思っていましたか、他の地区ではどのように伝えられているでしょうね。

お隣の大分県では、渋滞のことを「いっすんずり」と言うそうです。一寸は約3cmですが、それだけずつしか進まない、という由来だと渋滞中のタクシー車内で運転手さんが教えてくれました。自動車学校のことも、自校とか車校とか、地域で呼び名が違うみたいです。交通用語にも方言があるのは面白いですよ。

文化で感じる

ちよこつとSDGs

今年最後のSDGsを考えてみる視点は、方言も含めて「伝統と文化」です。

4 質の高い教育をみんなに
だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう

8 働きがいも経済成長も
みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう

11 住み続けられるまちづくりを
だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくらう

17の持続可能な開発目標のうち、これら3つに当てはまる分です。

改めて、お正月とは？



そもそもですが、なぜ「正しい月」と書くのでしょうか？他の月は間違っているのか？

「正」という漢字には「あらためる」という意味があります。日々の流れをあらためて、あたらしい月になる、ということが由来のひとつです。ちなみにですが、「新しい」「新たな」と「改めて」と音が似ていることも面白いですよ。

年末には何を食べる？

年末であれば、まずは年越しそばでしょう。寒いこの時期、除夜の鐘を聞きながら温かい蕎麦に年末だからちよつと豪華なトッピングを：なんてところが多いのではないのでしょうか。



と！思っていたのですが、蕎麦の栽培が有名な長野県や山形県、栃木県、福島県などでは、もりそばざるそばも当たり前食べられるんだそうです。理由は簡単、温かい蕎麦は蕎麦の風味が飛ぶから季節を問わず食べないから、ということ。



いやいや蕎麦もだけどすき焼きでしょ！と思っただあなた、もしかするとご出身は延岡地区？それともご家族に愛知県・岐阜県・三重県などの東海エリアご出身とか？元々「ひきずり」という、鶏肉を鍋の中でひきずるように焼いて食べる料理が牛肉に変わってすき焼きになったそうです。今年を引きずらずに来年を迎える、という縁起担ぎの食文化だそうです。

【交通安全クイズ】

今回は、交差点の歩行についてです。

問題：歩車分離式信号の交差点、ナナメに突っ切って歩ける？

歩行者信号が縦横とも青の場合そのままナナメに歩いてしまいそうになりますが、交通ルールとして大丈夫なのでしょうか？



答え：ナナメ横断は禁止！

思わずナナメに渡ってしまいそうになりますが、禁止です。ナメがOKな交差点は、ナナメに横断歩道があります。写真は県庁交差点。年末年始急いでいても要注意です！



地元の文化を知る、ということもSDGsの第一歩。お正月を考える専門の団体があります。1月いっぱい無料で検定もできるようなので、お時間のあるときに挑戦してみてください！
それでは来年も、皆さんご安全に頑張りましょう！

「れまでもアリがとう」



今年一年皆様お疲れ様です。それぞれ色々あったでしょうが、来年の基礎を築くのに必要だったと思うと良いのでしょうか。

2024年は20年ぶりに紙幣のデザインが新しくなります。金運チャンス今年だそうです。ちなみに一円札は資本主義の父である渋沢栄一、五千円札は女子高等教育の先駆者である津田梅子、千円札は近代日本医学の父である北里柴三郎。波に乗つたように頑張りましょう。
来年の干支は、十二支の中で唯一空想上の動物である龍。水にまつわる神様として広く庶民に浸透した存在です。天に翔け昇って雨雲を呼ぶ、その姿はコア物流の守り神ともなっております。

今年一年ありがとうございました。新しき年もよろしくお祈りします。皆さんの幸せがたくさん花開きますように願っています。

【1月のお誕生日】

- 12(金) ○○○○さん
- 25(木) ○○○○さん
- 25(木) ○○○○さん
- 25(木) ○○○○さん
- 31(水) ○○○○さん

